



## 体験談シリーズ

学校編

# みんなのこと、 どうしても放つておけない

埼玉県 岩出 結衣さん（15歳）

私もみんなのようになりたい！

私は小さい頃から支部のつどいや弥勒山セミナーに参加してきました。青年部のお兄さん、お姉さんが優しく、仲良くしてくれるのがすごく嬉しくて。私も自分から話しかけてみようと、小学校でもクラスの子たちにどんどん話しかけ、友達を増やしていました。

中学生・高校生にとって、1日の大半を過ごす学校は大切な場所。岩出結衣さんは、みんなが悔いのない学校生活を送れるように、積極的に周りの人と関わっている。そんな彼女の原点と、「Myおせつかい」を紹介する。

# みんなのこと、 どうしても放つておけない

小学5年のとき、毎日上履きを隠されたり、吹奏楽部で使う楽譜を破られるようになりました。誰がやつたのか全く分からなくて、友達と先生に相談して上履きを隠さないようにして、止まない。誰がこんなことを？何で私がこんな目に？本当に友達に心配をかけるのも嫌で、母と支部長に「学校に行きたくない」と毎日泣きついていました。2人は「休むだけじゃ何も変わらないよ。お経あげてみたら」と励ましてくれ、支部のお兄さん、お姉さんも「大丈夫？」と頻繁に連絡をくれたんです。

毎日お経あげ、みんなに話を聞いてもらつているうちに、つらい気持ちや相手へのイライラが少しずつ落ち着いてきました。そして、何で相手は嫌がらせをしてくるんです。

毎日お経あげ、みんなに話を聞いても

います。こうやって乗り越えられたのは、周りの人の支えがあったから。私もみんなのように誰かの力になろうと、この出来事をきつかけに心に決めました。

**私が何もしなかつたら、  
どうなるんだろう？**

中学生の夏頃、吹奏楽部の仲間のAさんが、友達グループから仲間外れをされるようになりました。大丈夫かなって気になっていたある日、練習中に彼女が教室の窓を開けて外を眺めながら「ここから飛び降りたい」と呟いたんです。放つておけなくて、「何があつたか聞かせて」。そう何度もAさんは何も答えてくれない。

るのかな。何か事情でもあるのかなって考えるようになりました。

4ヶ月が経つて、「私がやりました」と吹奏楽部の友達が名乗り出たとき、「何かあったの？」。相手を責める言葉より先にその一言が出てきて、自分でもびっくりしました。その友達は中学受験のストレスがたまつていたこと、私が他の友達としゃべりに行っている間、ひとりぼっちにされるのがつらかったこと。そんな理由を話してくれました。知らないうちに寂しい思いをさせていたんだな……。その日から、彼女をひとりにしないようにして、彼女の話を聞くように心がけました。

彼女とはすっかり仲直り。卒業して中学校が別々になつた今も、たまに会つては近況を話し合つたり、靈友会の教えを伝えて

くつたんです。

「死にたい」というAさんに「そんなこと言わずに、友達と仲直りしようよ。力になるよ」「吹奏楽部からひとりでも欠けたら、私たちが目指す音がつくれない。Aは大切な存在だよ」。彼女はたぶん、私のことをうざいと思ったかもしれない。それでもぐいぐい話しかけていつたら、私の話に「分かった」と返事してくれたり、仲間外れにされてつらい気持ちを話してくれるようになりました。

でも、Aさんは1年生の終わり頃から部活に来なくなりました。2年生になつてから

小学1年の夏頃、吹奏楽部の仲間のAさんが、友達グループから仲間外れをされるようになりました。大丈夫かなって気になっていたある日、練習中に彼女が教室の窓を開けて外を眺めながら「ここから飛び降りたい」と呟いたんです。放つておけなくて、「何があつたか聞かせて」。そう何度もAさんは心を開いてくれるのに来なくなりました。2年生になつてから

# みんなのこと、 どうしても放つておけない

その後も、クラスでひとりぼっちになつていてる子に話しかけて、友達の輪に入れたり、「楽しい人たちがいっぱいいるよ」と弥勒山セミナーやつどいに誘つたり……。自分なりの「MYおせつかい」をしてきました。相手が喜んでくれることで、私も元気になります。

4月から私は高校生。中学までの友達と離れてしまいますが、これは新しい友達ができるチャンス！ 高校生になつてもたくさんの人と関わっていきます。

## これからも 「MYおせつかい」

ここで私が何もしなかつたら、Aさんはずっとつらいままだ。思い切つて、Aさんから聞いたことをそのまま、彼女の友達みんなに伝えたんです。みんなの言い分はこうでした。以前からAさんが自分の都合で練習を休んでばかりなのに、コンクール本番には何食わぬ顔で来るのが嫌だつたと。自分たちは全国大会を目指して何よりも練習を優先して頑張ってきたのに、やる気のない人のせいで台無しにされたくなかったんだ。

みんなに聞いた話をまた、Aさんに伝えました。そして次はAさんが休んだ事情をみんなに話して……そんなやり取りを何往復かしたんです。ここで私が間違つたことを伝えたら余計に仲がこじれちゃう。すごくプレッシャーでした。Aさんと友達みんなが先生を交えて話し合いの場を持つことになつたときは、ほつとして。しばらくして、「結衣ちゃんのおかげで仲直りができた。本当にありがとうございます」。そうAさんが言ってくれたとき、本当に嬉しくなりました。

Aさんは部活に戻つてきました。そして、引退するまで部員が一つとなつて続けることができたんです。あきらめずにAさんと関わってきて、本当に良かつた。



\*写真はイメージです。本文の登場人物とは関係ありません。

『明法』2020年4月号から

2021.04 発行  
靈友会